

ファミレスにいたら

あなたと私でも

ファミリーだよね？

レストランだよね？

合川秋穂（京都府）

以前、ファミリーレストランで同じようなことを言われた記憶がある。ただ最後のレストランだよね？というセリフに聞き覚えはなかった。だから、とても気になったのかもしれない。

ファミリーだよね？という台詞以上に、レストランだよね？という台詞が、二人の距離がまだ遠いということを表している。ここが詩として成り立っているポイントだろう。

この二つの台詞は日常生活では決して頭に浮かんでこないものだ。家族は家族、レストランはレストランだから。でも私にとっての特別な時間がここにはある。

どこか多幸感に包まれているファミレスという空間に、この二人の存在が浮き彫りになるような詩だ。